

三翠化学会

(題字は稲川先生)
第 59 号
平成 22 年 8 月 25 日 発行
三翠化学会
津市栗真町屋町 1 5 7 7
三重大学大学院生物資源学研究所内
電話/津 (059) 232 - 1211
振替/名古屋 9 - 5 9 3 4 5
印刷/株式会社 あるむ
TEL (052) 332-0861 大 8 長谷川 正一

平成 22 年度 総会・懇親会開催 三翠化学会

田口 寛 先生・特別講演会

記

【日時】
平成 22 年 9 月 25 日 (土)
12 時 30 分～13 時 30 分 (受付開始 12 時)
【場所】
三重大学生物資源学部校舎 216 番教室
○田口 寛先生ご講演 (13 時～13 時 30 分)
○三翠会総会 (14 時～)
生物資源学部 大講義室
○懇親会 (16 時 30 分～)
三重大学講堂 三翠小ホール
【懇親会費】 3,000 円

暑い日が続いており、会員の皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、本年度総会を三翠同窓会総会(親同窓会)の日にあわせて、母校にて開催致します。当日は三重県支部総会もあわせて開催します。皆様方のご出席をお待ちしております。同時に今年定年退職された田口寛先生のご講演も予定しております。先生は健康をキーワードに幅広く活躍しておられ、楽しくかつ有意義なお話がうかがえるものと思っております。



国立大学法人化から六年が経ち、生物資源学部の体制もようやく落ち着いてきた感がありますが、新体制で卒業生を送り出し始めてまだ日が浅いこともあって、同窓会の体制はまだまだ整っていないように思われます。また三翠化学会の事務局を引き受けて頂いている現職教員の皆様方の所属も複雑になっております。これら母校の現状をこの機会に間じかに見て頂

田口 寛先生最終講義・ご定年退職祝賀会に多数の卒業生が集う!

田口寛先生(分子細胞生物学、旧生物化学)には、平成二十二年三月にご定年を迎えられ、研究室出身の懐かしい顔ぶれが詰めかけた最終講義は「今だから話せること」と題して二月十三日(土)午後一時から始まりました。三重大教員一筋三十五年十ヶ月の間に取組

まれた研究の結論「実用化につながる研究」に加えて、モットーとされている「健康がすべてではない。しかし健康がなければすべてはない。」や、近年開始された「食と健康・癒し」に関する研究のお話を味わい深く拝聴しました。講義題目を聞いて内容を心配される

方もおられたようですが、実は、写真家として、茶人としてなど、研究者以外の多才ぶりの一端を披露することでした。魯山人、半泥子らの世界、田口先生所有の値のつけられない陶芸品、海外でのエピソードなど、予定通り二時間十五分きっかり、しかし、あっといふ間の、時間を感じさせない惹きつける講義でした。記念として田口先生撮影のポストカードもいただきました。極めて感慨深い講義となりました。続いてホテルでの研究室出身者による祝賀会も大盛況で、二次会、三次会、話が尽きず、先生



と共に深夜まで語らう一日でした。なお田口先生は、四月以降も三重大伊賀研究拠点研究員、三重大客員教授・名誉教授等々として、本学と地域社会の発展のために多大な貢献を続けておられます。(奥村克純)

第十一回

三翠化学会

関西支部交流会報告

昭和五十九年二月に第一回が開催された関西支部会も、昨年節目の第十回を迎えました。これもひとえに会員皆様方の暖かいご協力の賜物とこの場を借りてまずは御礼申し上げます。新たな気持ちにて、平成二十一年十一月十五日、来賓として三翠化学会会長の小畑先生にご臨席賜り、新大阪のホテルクライトンにて第十一回交流会を開催いたしました。

第一部は、関西支部総会です。物故者への黙祷の後、小林支部長(大12)から支部活動報告がされました。来賓としてお越しいただきました小畑先生からは、今後益々同窓会活動を充実させていくという方針を伺い、関西支部といたしましてはより広く深く、支部会員の交流を図っていくべきと身のひき

しめる思いです。また先生には、寒紅梅酒造で醸造された「三重大」 という日本酒をお持ちいただきましたので、後の懇親会にて美味しくいただきました。大吟醸三重大「大19」を支部長に選出された伊藤幹事(大28)のもと堀幹事(大21)の会計報告、内田幹事(大15)からの監査報告があり、役員改選では新しく古橋さん(大19)を支部長に選出された。今後の支部活動の発展に尽力される旨、力強く抱負を語られました。嶋林先生と前支部長の小林さんには、今回の改選にて若返りが図られた役員会の顧問として残っていただき、引き続きアドバイス

支部案内

先生のご発声で乾杯、お互いの近況をかたりあったり、昔の写真に笑ったり、お酒もはいつてわきあいあいとした雰囲気です。中締めは、里村さん(専1)と北村さん(大30)の発声で、応援歌斉唱。来年の再会を約束し、第十一回関西支部交流会はお開きとなりました。ご参加いただきました皆様、また支部運営協力費にご協力いただきました皆様、この場を借りて、厚く御礼申し上げます。(小川大30 記)

第 12 回三翠化学会 関西支部交流会のご案内
日 時:平成 22 年 11 月 13 日(土) 午前 11 時から
場 所:ホテルクライトン新大阪
談話会特別講師: 嶋林正直先生(東京テレビ系の「世界を変える百人の日本人」に選ばれた先生のお話を伺うことができる絶好の機会です。是非奮ってご参加ください)
連絡先: 古橋 雅也 (大 19 回)

平成 22 年度三翠化学会関東支部会総会のご案内
日 時:平成 23 年 2 月 26 日(土) 午前 11 時～15 時
場 所:東京船堀 コラボ産学官プラザ 501 号室
連絡先: 亀山 幸輝 (大 12 回)



今、私は

名古屋市立大学大学院 システム自然科学科学研究科

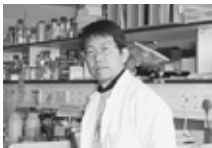
昨年、十五年間勤務した岩手大学を退職し、名古屋市立大学大学院システム自然科学科学研究科に赴任しました。Uターン転職です。岩手大学の前は民間企業に勤めていたのですが、四十半ばにして二度目の転職になります。地元に戻ることができて幸運ですが、退職金の積み立ては再びリセットされました。私が勤務する名市大のシステム自然科学科学研究科は十年前に発足したばかりで、定員二十四名の教員で大学院生の研究教育を行っています。小さな研究科ですが、教員の専門は、物理、化学、生物、数学、情報、健康科学と幅広い分野にわたっており、所属する大学院生が全て他大出身者という特徴を持っています。学部がないので学生定員を確保するのに奔走しなければなりません。

長崎大学 熱帯医学研究所 エイズ感染防御分野

私は、一九八八年に三重大学大学院生物資源学研究科を修了し、京都大学大学院医学研究科に進学した時、マウス白血病ウイルス (MLV) の研究を始めました。現在も、長崎大学・熱帯医学研究所の助教として MLV の研究を継続しています。身分は助教ですが、当研究室には教授、准教授がいなかったため、PI (研究プロジェクトリーダー) として研究室の運営、研究課題の計画立案を、全て私が行っています。MLV の研究は、当初、逆転写酵素や癌遺伝子の発見というノーベル賞受賞に結びついた研究であったことから、世界的に主流な研究テーマでした。しかし、同じレトロウイルスに属するヒト免疫不全症ウイルス (HIV) が発見されるやいなや、MLV は所詮マウスのウイルスという理由で、ほとんど研究されなくなりました。それでも、私は、流行に流されず、「MLV と言えは久保」と呼ばれるように、このウイルスの研究を続けました。現在では、国際的な科学雑誌に投稿された MLV 関

木藤新一郎 (大35回)

幸いにして今年度は三名の学生を研究室に迎えられることができました。私の研究対象は植物で、主としてムギが進化の過程で獲得した固有遺伝子の機能解析を進めています。発見当初はどんな働きをしているのか全く不明でしたが、最近ムギの細胞壁にあるβ-グルカンの合成に関わっている可能性が出てきました。学生時代に嶋田先生や粟冠先生の指導で好熱嫌気性菌の細胞壁分解酵素を研究していましたので、再び細胞壁関連の研究に関わることになり運命を感じていました。また、まだ未熟者です。皆様方のご指導ご鞭撻を賜りながら成長し、教育研究に邁進したいと思っております。



久保 嘉直 (大36回)

連論文の査読や著書を頼まれるに至り、その目標はある程度達成されたと思えます。しかし、世界的にも MLV を研究している研究者は数名で、決して重要な研究課題とは言えません。ところが、つい最近、ヒト前立腺癌や慢性疲労症候群の患者において、高い割合で MLV が感染していることが見つかると、MLV は一躍、有名なウイルスになりました。多くの研究者が MLV 研究に参入してきました。今まで MLV の研究者人口が少なかったため、MLV 関連の研究資料 (DNA や抗体) は市販されていません。そのため、世界中の研究者から MLV 関連資料の提供を依頼されます。そして、沢山の MLV に関する論文が発表されるようになります。多くの研究者が MLV 研究に参加してくれることは嬉しい反面、大切に育ててきた一人息子が巣だつて行った時の寂しい気持ちにもなります。しかし、研究の世界は、弱肉強食の厳しい世界です。新参者に追い越されないように、頑張っています。

●●● 大学近況 ●●●

国道二十三号の江戸橋―大学前間の歩道拡幅工事が終了いたしました。歩道の他に、自転車専用レーンができ、安全で便利になりました。



◆ 恩師近況報告 ◆

山田 哲也 先生

皆さんお元気ですか？ 私も七十三歳になりましたが、なんとか無事に過ごしております。この度、荻田さんから三翠化学会報に書くようにお手紙を貰いました。三翠化学会報はつきり学部統合の際発展的解消をしたと思っていました。大変嬉しく思いました。さて、私が三重大学を中途退学してから早十一年も経ってしまいました。最初の六年間は名城大学に勤務しましたが、そこで私学特有の得難い経験をしました。即ち、学生数の多さで、農芸化学科の一年生が一七〇名でした。如何に三重大学の学生が教育環境に恵まれているかを痛感しました。

毎回出席確認のためのレポートを点検するのに半日は掛かってしまいました。又、名城大学で自己点検評価委員会の委員長 (現在は文部科学省の指導で学長が務める) を務めたため、全学部を实地調査したことから、学部間で運営に大きな違いがあるのかも知り、その是正を提言したこともあります。しかし、これらも全て過去となって五年が経ちました。名城大学を定年退職した際、年賀状にこれからは「晴耕雨読」ならぬ「晴遊雨眠」の生活を楽しむと書きました。しかし、祖父が植えた柿畑を含め、少々農地がありますので、「晴耕」の方は幾らか実践しており、レポートを点検するのに半日は掛かってしまいました。又、名城大学で自己点検評価委員会の委員長 (現在は文部科学省の指導で学長が務める) を務めたため、全学部を实地調査したことから、学部間で運営に大きな違いがあるのかも知り、その是正を提言したこともあります。

私が現役時代でも企業の人話で海外に行くときは利用できるようなったとか、時代も変わってきました。私が二十年以上前に設立に関係した「東海地域生物系先端技術研究会」(東海生研) が三年前 NPO 化した際、頼まれてお手伝いすることになり、その関係で主として食品関連企業さんにお邪魔する機会ができました。先日イチビキ(株)に竹内さんと森重さん(両人と四十一年位前の卒業生)を訪ねたところ、重役や部長として活躍とのこと、竹内さんは大学の吹奏楽部にいたので、今は会社で進軍ラッパを鳴らして社員を鼓舞しているのでしょうか。お土産にイチビキの製品を貰い、早速家で味わって、つくづく食品を扱う農芸化学科の教員であった幸せを感じました。そんなことで、今後も皆さんの所へ突然お邪魔することがあるかもしれないと思いますがその時は何卒宜しくお願いいたします。

生理活性化学研究室に

今後ともご支援をお願いします



三翠化学会の皆様こんにちは。いつもご支援頂きありがとうございます。

このたび平成二十二年四月より、生理活性化学教育研究分野(旧農薬化学)の四代目教授として、研究室を担当することになりました。責任ある立場になったことで身の引き締まる思いであると同時に、さらに一層努力していきたいと思っております。よろしくお願致します。

さて、今振り返りますと、平成三年十二月に三重大学助手として採用されてから十八年の月日が流れました。学生時代を信州大学、京都大学で過ごし、その後三重大学採用されてから幸いにもアメリカ留学も経験しましたので、四箇所の大学で過ごした経験から、三重大学は大変良い所であると実感しております。キャンパスが一つにまとまっていて大変広く、学生の数も多く活気があること、中部圏を中心とした学生が集まる、キャンパス周辺の治安が良いなど、いろいろ挙げることができると思っています。そして、十八年を過ごした私は、大変この大学を愛しております。そこで愛校心に満ちた私事ながら、これから力を入れたいことの一つに初學者教育があります。昨今の理科離れなどもあり、化学を教えるに、学生の熱気が薄くなつてきており、大変成績の良い学生から、そんなに化学が好きでは無いんです、と意外な言葉が返ってきたりします。そこで、早いうちに、自分で面白く行動する「大学生の学び方」に変えていくために、化学の魅力をもっと伝えねばならないと思っております。高校生までの勉強や生活があまりに忙しかったの

ではいかかと思ひ、ゆつくり実験して確かめる様な授業を創って行けたらと思っています。また、二つめに、企業との共同研究を充実して行きたいと思ひます。大学での研究が実社会で生かせるように、教員にも学生にも刺激ある研究を目指していきたいと思ひます。今年は大変な就職難で、学生も大変プレッシャーを感じながら就職活動が続けております。こんな時こそ是非同窓会の皆様からの暖かい応援を頂きますようお願い致します。(稲垣 穂)

酒蔵見学会の報告と

最近の大学ブランドの近況



前回の「三翠化学」会報五十八号でご案内しましたが、今年の三月六日(土)の午後、寒紅梅酒造(株)の酒蔵二階で親睦会を開催しました。一番遠方からはつくば市から駆けつけていただいた、二十名ほどが集まりました。嶋田先生はじめ参加されたお酒好きの方々から、三重大学のお酒は評判通りおいしいとの評価をいただき、酒造りをした学生は満足げでした。この日本酒で漬けた梅酒も造っ

ています。今年二月中旬に開催されました大阪天満宮の梅酒祭りでは二四二銘柄中八位に入賞しました。大吟醸「三重大学」で漬けた三重大学梅酒は皆さんうまいと絶賛。お酒も好評ですが、三重大学カレッジと三重大バウムも予想を遥かに上回る売れ行きです。テレビや新聞などにも時々報道されます。最近では学長せんべいも加わり大学ブランドがだんだん充実してきました。今、紀伊国屋書店が企画している大学ブランドの販売「学市学座」では三重大学カレッジと三重大バウムは正規メンバー入りをしていて、全国展開も行われています。また、三重大学カレッジは今年の四月から、三重県と愛知県と岐阜県のジャスコイオン店の一部で販売も行われていますので、お近くのスーパーでも見つけられたときは勢水丸

三翠化学のHPができました

『三翠化学会』で検索してみてください。同窓会、同期会の開催予告など、HPに掲載したい内容がありましたら、電子メールで荻田までご連絡ください。

karita@innov.mie-u.ac.jp

(久松院 8 回 記)